

# 第15回 鎌ヶ谷市社会福祉大会



2月9日(金)鎌ヶ谷市総合福祉保健センター6階大会議室にて約350名の参加者のもと、「第15回鎌ヶ谷市社会福祉大会」を開催いたしました。

社会福祉大会は、社会福祉活動の振興と住民主体の地域福祉を進めると共に、社会福祉に寄与された方々を表彰し、感謝と敬意を表することを目的に隔年で開催しています。

今大会もボランティア活動などを永年続けてこられた皆さまに表彰状、寄付関係者に感謝状を、本会鈴木秀承会長より授与いたしました。今後も地域福祉を支える大きな力となるようご協力をお願いいたします。

また記念講演として、前鎌ヶ谷市教育長 井上和夫氏をお招きし、「地域と学校の連携及び福祉教育」をテーマに、永年の教諭生活や教育長としての豊富な経験を踏まえた貴重なお話をいただきました。

鎌ヶ谷

# 社協 だより

平成19年3月23日 第70号

発行……社会福祉法人  
鎌ヶ谷市社会福祉協議会  
〒273-0195  
鎌ヶ谷市初富928-429  
総合福祉保健センター5F  
TEL.047-444-2231  
FAX.047-446-4545

## 記念講演会



(敬称略・順不同)

# 祝

おめでとうございます

### 功労表彰〈個人〉

(故)桑原良祐、持田辰彦、植木英子、永瀬タツ子、五味キクエ、千葉京子、細野八千代、大嶋泰子、村田セツ子、須藤道雄、橋浦孝子、竹内ヨシエ、亀井昌子、三浦妙子、武田光子、浜崎輝夫、広瀬よつ子、小池茂代子、清原雪、北川貞子、石澤信行、関野榮子、武井千代子、是永幸久、前田里美、行森光子、井出民江、佐藤笑子、山本敬子、大伯初枝、関京子、漆間宏子、余川朝子、多田聖子、戸田マサ子、内藤幸子、内藤艶子、黒木初枝、渡辺節子、吉野静朗、大川原美子、長谷川春子、高梨静子、渡邊規子、小池美寿須、山城英子、石田澄恵、島田易子、石川恵美子、石井正子、渋谷二三子、足立清美、安田繁、小笠原石代子、渡辺美津子、高梨勝二、綱川清、田中時雄、木内滋、奈良直次、松井一郎、石坂マサ、飯田絢子、高橋博子、浅海せつ子、石上文子、稲見孝江

### 功労表彰〈団体〉

鎌ヶ谷市おもちゃの図書館  
「あ・そ・ぼ」、第二「わかば会」

### 感謝状〈寄付関係〉

木下秀子、笹岡のぶ、今村隆一、田代アキ、(故)藤乗淳子、沼田維雄、村田瑞穂、山崎タケ、鎌ヶ谷市陶芸クラブ、鎌ヶ谷市民謡連合会、鎌ヶ谷ロータリークラブ、鎌ヶ谷ニューボーイズ「うたごえ喫茶」、鎌ヶ谷局親和会、株式会社ヤマシナ商事、産業フェスティバル実行委員会、千葉土建一般労働組合鎌ヶ谷支部、富岡排水組合、南初富連合自治会、南部ガレージセール実行委員会、ニッポー株式会社、華乃会、ビッグボスシバザキ株式会社、富岡おもと会

### 感謝状〈法人会費関係〉

株式会社鎌ヶ谷カントリー倶楽部、株式会社矢口建設、庄司内科医院、新和設備株式会社、永井建設株式会社、道野辺釣堀センター、有限会社鈴木産業



# 東部・南部 地域支えあいセンター

4月1日よりスタート!

地域支えあいセンターは、鎌ケ谷市の『地域福祉計画』を受け、地域住民がお互いに協力する「地域支えあい活動」の拠点となることを目標としています。今後も他の4地域(中央・中央東・西部・北部)に順次設置していく予定です。

## 地域支えあいセンター事業内容 〈支えあいセンターではこんな事業を実施しています。〉

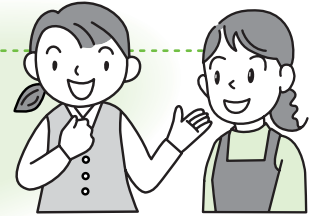
### 1) 情報提供事業

保健福祉に関する情報、ボランティア情報に加え、地域の情報の収集と提供を行います。



### 3) ボランティア事業

社会福祉協議会ボランティアセンターとの連携のもと、地域のボランティアの紹介、交流等を行います。



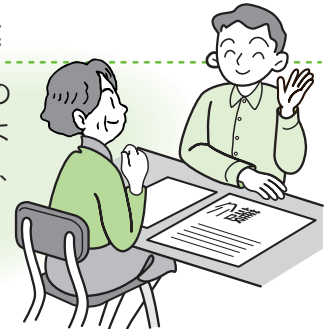
### 2) 相談事業

地域住民を対象とした保健福祉に関する相談をお受けします。相談にあたっては、専門機関との連携をはかりながら進めていきます。



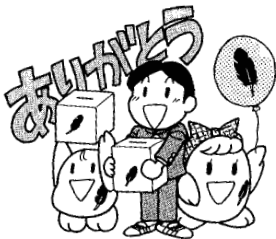
### 4) コーディネート事業

地域での支えあい活動の実態把握に努め、活動がより効果的に実施できるよう、コーディネートを行います。



- 東部地域支えあいセンター 東部地区社会福祉協議会内 TEL・FAX.047-442-5147
- 南部地域支えあいセンター 南部地区社会福祉協議会内 TEL・FAX.047-401-3451

## 平成18年度 赤い羽根共同募金実績報告



募金総額	8,685,792円
戸別 (26自治体)	7,283,850円
学校 (市内16校 小・中・高)	148,455円
法人 (商店等 328件)	1,102,000円
職域	63,171円
その他 (個人・団体)	88,316円

### ●配分先

福祉活動団体	650,000円
ボランティア活動など	668,000円
児童・青少年福祉活動	700,000円
地区社協	2,700,000円
広報活動	550,000円
合計	5,268,000円

平成18年10月1日～12月31日までの3ヶ月間「赤い羽根共同募金運動」が実施されました。自治会、学校、企業などの皆様のご協力により、8,685,792円の募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。このうち40%が広域配分として県内の民間社会福祉施設や福祉団体に配分され、残りの60%が地域配分として社会福祉協議会に配分されます。平成17年度の配分先は上記のとおりです。

## 平成18年度 歳末たすけあい募金実績報告

平成18年12月1日～12月31日までの1ヶ月間「歳末たすけあい募金運動」が実施されました。自治会などの皆様のご協力により、4,390,218円の募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。これらの募金は、市内の要援助者世帯や施設入所者、福祉施設などに配分され活用されています。平成18年度の配分先は右のとおりです。



### ●配分先

要援助者世帯		施設・団体	
一般世帯	890,000円	小規模作業所	200,000円
ひとり親世帯	2,054,000円	職親登録者	25,000円
高齢者世帯	125,000円	福祉健康フェア	160,000円
ひとり暮らし高齢者	400,000円	ふれあい冬まつり	100,000円
施設入居者		ひとり親クリスマス会	73,000円
養護老人ホーム	90,000円	ミニデイサービス	50,000円
児童福祉施設等	60,000円	肢体不自由児団体	50,000円
障がい児施設	30,000円	障がい者団体	50,000円
次年度へ繰越		3,185,383円	
合計		7,542,383円	

募金総額	7,542,383円
戸別 (26自治会)	4,112,055円
法人 (商店1件)	5,000円
その他 (個人・団体)	273,163円
前年度繰越金	3,152,165円



# 皆さんのご家庭では、 災害に備えていますか？



阪神淡路大震災が発生してから、今年で12年が過ぎました。いつ発生するか分からない災害に日頃から備えていますか。今回は備えておきたい非常用品などを紹介します。

下記を参考にご家庭にとって必要なものは何か考え、備えましょう。

## ●なぜ、非常用品が必要？

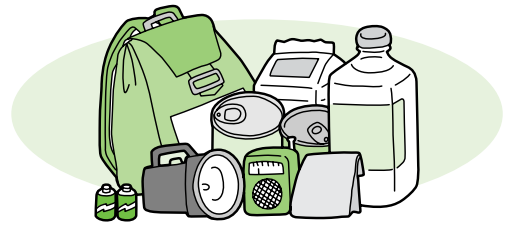
大規模災害が発生した場合、道路やライフラインが切断され、物資や情報の流通が途絶え、地域が孤立してしまう恐れがあります。そうした場合、災害発生から数日間食料など不足することが予想されることから、非常用品が必要となります。

## ●どれくらい必要？

公的機関による物資の受入と供給体制が整うまでの間として、最低3日間生活に必要な物資の蓄えが推奨されています。そのため、最低限必要な水・食糧などを備えておくことが必要となります。

## ●非常持出品とは？

災害が発生し緊急的に避難する必要がある場合は、あまり多くのは持たせません。避難の時に持っていくものは家族で分担するなど、避難場所まで無理なく持って歩ける重さか確認しましょう。



## ●非常持出品

非常食	食料は調理をしなくても食べられる非常食品や、レトルト食品、缶詰、チョコレートなど（紙コップ、紙皿、割り箸などの簡易食器も一緒に用意しておくとう便利です）。
飲料水	1人1日3リットル×3日分（ミネラルウォーターは長期保存に向かないものもありますので、消費期限を確認しましょう）。
貴重品	現金、預金通帳、印鑑、免許証、権利証書、健康保険証など。
緊急用品	絆創膏、消毒液、脱脂綿、包帯など（常用薬、処方箋のコピーも用意しておくとう便利です）。
日用品	衣類、下着など（冬季には防寒着も必要になります）、ティッシュペーパー、ウエットティッシュ、タオル、ビニール袋、軍手、生理用品、オムツ、筆記用具、眼鏡、ナイフ、懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池など。

## ●非常備蓄品

生活用品	簡易コンロ、固形燃料、ライター、缶切り、毛布、ビニールシート、ガムテープ、寝袋など。
消火器	消火器、三角消火バケツ。
消火用水	風呂水の汲み置きは消火用のほか、断水の際にトイレの排水用として使えます。
各種資機材	笛、ハンマー、スコップ、のこぎり、パール、ジャッキ、ロープなど。

## 善意の寄付 ありがとうございました

平成18年10月16日～平成19年2月15日  
(敬称略・順不同)

名前	寄付先	金額・品名	名前	寄付先	金額・品名
堀内 秀雄	社協	10,000円	南初富連合自治会	友愛ボランティア	80,000円
チャリティサークルふれあい会	社協	100,000円	ニッポー株式会社	ふれあい冬まつり	菓子 444個
鎌ヶ谷詩吟連盟	社協	5,000円	鎌ヶ谷市陶芸クラブ	社協	20,000円
御簾納 正治	社協	4,000円	山崎 タケ	社協	100,000円
富岡排水組合	社協	70,993円	鎌ヶ谷市商工会青年部	社協	56,617円
	中央地区社協	70,000円	大仏商店会	社協	35,000円
鎌ヶ谷市農業士等協会	社協	5,000円	匿名	社協	3,950円
鎌ヶ谷手工芸連盟	社協	16,045円	富岡おもと会	社協	10,970円
イーエム・ピーエム鎌ヶ谷初富駅前店	社協	5,738円			雑巾 67枚
千葉建設労働組合鎌ヶ谷支部	社協	20,000円	平成19年度鎌ヶ谷市成人式出席者一同	社協	5,210円
匿名	社協	20,000円	千葉土建一般労働組合鎌ヶ谷支部	社協	21,505円
鎌ヶ谷市民謡連合会	社協	20,330円	井上 和夫	社協	30,000円
沼田 維雄	社協	500,000円	鎌ヶ谷青年会議所	社協	37,000円



# ボランティアセンター事業計画



平成19年度、ボランティアセンターで予定している事業の一部をご紹介します。

- 4月 春のきらりコンサート
- 5月 ボランティア入門講座「始めよう 楽しもう ボランティア」  
これからボランティア活動を始めたい方のための講習会です(全4回)。
- 5月 第3回災害救援ボランティア養成講座  
平成17年度より年1回、市の地域防災計画に沿ってボランティアを養成しています。
- 6月 個人ボランティア交流バス研修  
自分の技術や経験を生かして個々に活動している方々が交流を深めます。
- 7月～8月 ジュニアボランティア体験学習(小中高生対象)  
夏休みを利用して、手話や点字を学んだり、施設でのボランティア体験ができます。
- 11月～12月 市民ボランティア体験学習(一般市民対象)  
ボランティアグループの活動を体験し、自分に合ったボランティアを見つける機会です。
- 1月 ボランティア育成講座  
すでにボランティア活動をしている方のためのスキルアップ講座です。
- 2月 個人ボランティア研修会  
個人ボランティアの方々が1年間の活動を振り返る場です。

# ボランティアセンター



総合福祉保健センター5F  
問い合わせ TEL(442)2940  
FAX(446)4545

## 開所時間

月～金曜日：午前9時～午後4時  
第2・4土曜日：午後1時～午後4時

ボランティアセンターは、ボランティア活動に関する相談をお受けしています。  
小中学校や市民グループなどへ福祉の出前講座もいたします。  
お気軽にご相談ください。

## 地域デビュー

# 自分の魅力再発見!

「団塊の世代の定年退職」を控え、50歳以上の方を対象に、地域でのボランティア活動と生きがいづくりについて学ぶ「シニアライフく自立くのすすめ」を全3回にわたり開催しました。参加者のひとり、小西さんの感想を紹介します。

## ボランティア

### 1年生の壁

～岩橋さんと出会うまで～

小西 惟愛

退職後、追われるように市内の様々な催しに参加しました。自分の求めるボランティア活動がないかと探し回りました。でも、ありませんでした。簡単に見つかると思込んでいたのに、本当に難しいものだと痛感しました。

その後も、あちこち顔を出し、手当たり次第参加したものの無いのです。諦めかけた頃、突然ボランティアセンターから電話がありました。「シニアライフ」に会があるから参加しないかとのことでした。そこでの講師が岩橋さんでした。すでに松戸市でNPO法人を運営され、豊かな経験と広い見識は私の心を捉えたの

です。その場で、「わくわく楽しむ会」に参加することを決めました。

実際に、探し始めてから3年近く経っていました。

今、まじめにボランティア活動を始めようと考えている皆さんに、お伝えしたいことは、

- (1) 選んでいないで、地域の催しに出来るだけ多く参加すること。
- (2) 気取らずに、あせらず地道に探し続けること。

この二つが、活動の場を見つける近道だと思います。

思い通りのものなど、都合よくやって来ることはありません。まずは自ら、地域に一歩踏み出すことだと思います。越えなきゃならない壁は、むしろ自分の中にあると思います。自分と、沢山の仲間が手を広げて待つてくれるのです。

## 個人ボランティア紹介



西村 子工さん

2001年9月11日、アメリカで同時多発テロが発生しました。TVの報道で、世界貿易センターが破壊される悲惨な映像を、言葉なく茫然と見ていました。その悲しみの中で、市民によるさまざまなボランティア活動が行われていました。リングをひとつ持つてくる人、歌を歌う人、話を聴く人など。それを見て一人それぞれの思いで出来るこ

とをする、それがボランティア活動なのだ。100人いれば100と通りの活動になる」と考え、早速ボランティア登録をすると、自分の気持ちが軽くなった気がしました。  
活動について知識も経験もない私は、活動先で出会った人たちが先輩に初歩から教えていただきました。小さな援助を必要とする方々と少しの時間を共有するだけでよい。そこには人の和があり、学びがありました。小さな活動から人の輪が広がり、多くの力を戴いて感謝しています。

## 第6回 春のきらりコンサートのおさそい



企画 学生ボランティア「ほっとステーション」

今年のテーマは「ありがとう」です。歌声を通じてあなたも大切な人に「ありがとう」を伝えてみませんか。

日時：4月22日(日) 10時～12時30分  
会場：総合福祉保健センター6階 大会議室  
定員：200名(先着順)  
出演：アンサンブルポーコ、石関康博、高村美穂、寺井ひとみ、藪谷幸男、吉川重清、和田守正とブレイクダンスチームほか  
申し込み：ボランティアセンター まで